

# プレスリリース

2014年 11月 27日  
国立大学法人福島大学  
独立行政法人海洋研究開発機構

## 放射性物質ストロンチウム90の迅速分析法が 東京電力福島第一原子力発電所内の分析業務において 実際に運用・活用されることが決定しました

今回、福島大学を中心とする研究グループ（高貝慶隆准教授）が開発して実用化を進めておりました「放射性物質であるストロンチウム90（ $^{90}\text{Sr}$ ）の分析装置」がこのたび大学発の技術として、東京電力福島第一原子力発電所（1F）内の分析業務において実際に運用・活用されることとなりましたので、ご報告をさせていただきます。なお本研究は、文部科学省が実施する「廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム」の平成26年度対象事業になっています。

詳細は[福島大のサイト](#)をご覧ください。

国立研究開発法人海洋研究開発機構  
広報部 報道課長 野口 剛